

おう吐物・ふん便は正しく処理しましょう

- 処理をする人自身が感染しないように、気をつけましょう。
- ノロウイルスが残らないように、確実に消毒をしましょう。
- すぐに処理できるよう、次のものを普段から準備しておくとう便利です。

処理用セット

バケツ、塩素系消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）、ビニール又はゴム製手袋、マスク、白衣やエプロン、ビニール袋、ふき取るための布や紙など

- ① 処理をする人以外が近づかないようにします。
- ② 処理をする人は手袋とマスク、エプロンを着用します。



カーペット等は変色する場合があります。スチームアイロンなど85℃1分以上の高温で処理する方法もあります。

- ③ 汚物（おう吐物・ふん便）は、布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、汚れた面を折り込みながら静かにぬぐい取ります。



同一面でごすると汚染を拡げるのでご注意ください。

- ④ 使用した布やペーパータオル等は、すぐにビニール袋に入れ、処分します。



0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度にビニール袋内に入れ、消毒することが望ましいです。

- ⑤ 汚物が付着していた床とその周囲を0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すようにふきます。



次亜塩素酸ナトリウムは鉄などの金属を腐食させるので、ふき取って10分程度たったら水ぶきします。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方は4ページを御覧ください。

- ⑥ 使用した着衣は廃棄が望ましいですが、消毒する場合は4ページの手順で行います。



- ⑦ 手袋は、付着した汚物が飛び散らないよう、表面を包み込むように裏返して外します。手袋は、使った布やペーパータオル等と同じようにビニール袋に入れ、処分します。



処理後は手袋を外して手洗いをします。

※その他の留意点

- 可能ならば、処理後にシャワーを浴びる。
- 処理時とその後は、部屋の窓を大きく開けるなどして換気し、換気設備がある場合は必ず運転する。
- 下痢をしている人がいるときは、トイレのドアノブも消毒する。